

広報資料

No.10-003

2010年6月22日

第12期決算および役員を選任について

アイベックスエアラインズ株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：服部浩行）の第12期（平成22年3月期）決算について下記のとおりお知らせいたします。また、本日開催されました定時株主総会にて下記のとおり取締役および監査役の選任がなされましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 営業実績

(単位：千円)

区分	前会計年度 (第11期)	当会計年度 (第12期)	増減
事業収益	6,067,264	6,816,591	749,326
経常利益	198,836	338,130	139,294
当期純利益	177,653	97,101	△80,552
1株当たり当期純利益 (円)	2,114.92	1,155.96	△958.96
総資産	5,591,712	9,534,656	3,942,943
純資産	△33,773	63,327	97,101

2. 事業の概況

当期における我が国経済は、世界的な景気後退の中で一部では回復の兆しが期待されたものの、新型インフルエンザへの懸念やデフレ傾向への懸念などの不安材料を払拭するには至らず、厳しい状況が続きました。

航空業界におきましては、長引く不況と先行きの不透明感から航空需要が低迷し、期末近くには搭乗客数がやや増加傾向を見せたものの、経営環境は低調に推移しました。

このような状況の下、当社におきましては本邦初となる新機種(カナダ Bombardier 社製 CRJ700NG)の6月受領作業、並びに運航開始準備に全社をあげて取り組み、9月から仙台・広島線及び仙台・小松線を各1往復、さらに11月からは当社では最長区間となる仙台・福岡線1往復を全日本空輸株式会社とのコードシェア便として運航開始し、需要層の獲得に努めました。また、堅調な路線の補強と運航体制の集約を目的に、11月から伊丹・秋田線を休止し、伊丹・仙台線へ振り向けました。これらの施策に

より事業収入のさらなる安定化が図られました。また、原価面では燃料価格の軟化及び円高を梃子にさらなる経費削減策を全社的に実施し、新機種導入費用の吸収に努めました。一方で増機に必要な生産体制の強化に注力し、運航乗務員、整備士等の有資格者の育成を図りました。

この結果、事業収入は6,816百万円となり前年同期(6,067百万円)比で749百万円(12.4%)増加し、事業費は6,082百万円で前年同期(5,465百万円)比で616百万円(11.3%)増加し、販売費及び一般管理費は315百万円となり前年同期(374百万円)比で58百万円(15.5%)減少しました。営業利益は418百万円となり前年同期(228百万円)比で190百万円(83.5%)増加し、経常利益は338百万円となり、前年同期(198百万円)比で139百万円(70.1%)の増加となりました。また当期純利益は、航空機の耐用年数を短縮したことによる過年度の償却不足額を特別損失に計上した結果、97百万円となり、前年同期(177百万円)比で80百万円(45.3%)の減少となりました。なお、当決算を以って債務超過を解消し、純資産合計は63百万円となりました。

3. 今後の見通しと課題

引き続き安全運航を堅持しつつ、全日本空輸株式会社とのパートナーシップを継続的に拡大発展させるとともに、今後の増機体制を磐石なものにするため運航乗務員、整備士等の有資格者を中心に人材育成を積極的に行います。

4. 取締役および監査役

【取締役】

役職	氏名	備考
代表取締役会長	浅井 孝男	重任
代表取締役社長	服部 浩行	重任
取締役総務部長	久保 信一郎	重任

【監査役】

役職	氏名	備考
常勤監査役	佐伯 龍夫	重任
監査役	斎藤 葵	重任
監査役	丸山 実	重任

貸借対照表
(平成22年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額
【資産の部】	
流動資産	1,962,066
固定資産	7,572,589
有形固定資産	7,179,865
無形固定資産	41,728
投資その他の資産	350,995
資産合計	9,534,656
【負債の部】	
流動負債	6,767,931
固定負債	2,703,397
負債合計	9,471,328
【純資産の部】	
株主資本	
資本金	4,200,000
資本剰余金	8,880
資本準備金	8,880
利益剰余金	△ 4,145,552
繰越利益剰余金	△ 4,145,552
純資産合計	63,327
負債・純資産合計	9,534,656

損益計算書

自 平成21年 4月 1日
至 平成22年 3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額
事業収益	6,816,591
事業費	6,082,115
売上総利益	734,475
販売費及び一般管理費	315,991
営業利益	418,483
営業外収益	26,535
営業外費用	106,888
経常利益	338,130
特別損失	234,573
税引前当期純利益	103,556
法人税、住民税及び事業税	6,455
当期純利益	97,101